

北海道退学低温科学研究所共同研究（研究集会）

グリーンランド南東ドームアイスコアに関する研究集会

開催日時：9月24日13:00～9月26日12:30まで

開催場所：北海道大学低温科学研究所 講堂（札幌市北区北19条西8丁目）+ オンライン聴講

オンライン接続URLはメールにて周知

	日程	氏名	所属機関（部局）・職名（学年）	発表タイトル
	9月24日			
	13:00-13:15	石野・飯塚		挨拶/事務連絡
年代決定と涵養量 (座長 田中祥太)	13:15-13:45	堀 彰	北見工業大学・准教授	SE 2 浅層コアの高分解能密度プロファイルの特徴
	13:45-14:15	浜本佐彩	名古屋大学 環境学研究所・修士2年	グリーンランドSE-Dome II アイスコアの季節分解能の年代スケールと酸素同位体記録の年内変動パターン
	14:15-14:45	堀内一穂	弘前大学・准教授	SEドームアイスコアに記録された ¹⁰ Be（仮）
	14:45-15:15	坂田宙斗	北海道大学大学院環境科学院・修士2年	地中レーダーを用いたグリーンランド氷床SEドームにおける涵養量の時空間変動復元
	(休憩)			
エアロゾル 1 (座長 相澤拓郎)	15:30-16:00	飯塚芳徳	北大低温研	SE-Dome コアの硫酸・硝酸イオン解析
	16:00-16:30	栗栖美菜子	東京大学大気海洋研究所・講師	SE-Dome II アイスコア中の鉄の濃度・溶解率・同位体比の経年変動
	16:30-17:00	平野瑞幸	北海道大学環境科学院・修士1年	グリーンランド南東ドームに含まれる不揮発性微粒子のラマン分析
	18:00～			懇親会（場所・料金はメール本文にて）
	9月25日			
新規分析・手法開発 (座長 川上薫・坪井彩紀)	9:00-9:30	坪井 彩紀	金沢大学大学院修士2年	グリーンランドアイスコアに記録された過去200年間の過酸化水素濃度の長期変動要因の検討
	9:30-10:00	大藪幾美	国立極地研究所・助教	SE-Dome II コアの気泡中の窒素と酸素
	10:00-10:30	鈴木舞生	総合研究大学院大学 (M1 (D1))	グリーンランド SE-Dome II アイスコアを用いた産業革命以降の CH ₄ 濃度復元
		(休憩)		
	10:45-11:15	関宰	北大低温研	SE-Dome2アイスコアの有機エアロゾルトレーサー
	11:15-11:45	川上薫	北海道大学低温科学研究所・非常勤研究員	グリーンランド氷床南東部アイスコアに含まれる硫酸エアロゾルの粒径分級装置の開発
	11:45-12:15	下森陽道	金沢大学・4年	アイスコア試料に適用可能な過酸化水素の三酸素同位体組成 ($\Delta^{17}O(H_2O_2)$ 値) 分析手法の開発
	(昼食)			
気候影響 (座長 浜本佐彩)	13:30-14:00	相澤拓郎	国立極地研究所・特任研究員	CMIP6モデルの北極気候の再現性の検討（仮）
	14:00-14:30	黒崎 豊	名古屋大学大学院環境学研究所 研究員	北極海氷域のDMS放出量の変化がエアロゾル・雲に与える影響について
	14:30-15:00	石野咲子	金沢大学・助教	DMSからのエアロゾル生成過程の解説
	(休憩)			
勉強会（希望者のみ）	15:15-17:00	進行：石野 補助：相澤・黒崎		Pythonを用いたnetcdfデータの処理体験 (参加される方は、ネット環境 (Eduroam) の確保と、テキスト①のインストールまで事前に進めてきてください。テキスト等はメールにてご案内しています。)
	9月26日			
エアロゾル 2 (座長 江刺和音・黒崎豊)	9:00-9:30	上田紗也子	名古屋大学 (環境学研究科)・特任助教	SE-DomeアイスコアのBC測定およびサブミクロン水不溶性粒子観察
	9:30-10:00	篠原俊	北海道大学 大学院 環境科学院 M2	グリーンランド氷床 SEDome アイスコア中の微粒子の解析
	10:00-10:30	田中祥太	東京大学理学系研究科・修士2年	グリーンランド南東ドームアイスコアに記録された垂鉛の化学種及び同位体比の分析
		(休憩)		
	10:45-11:15	江刺和音	名古屋大学大学院環境学研究所・D3	ネパール・ヒマラヤ、トランパウ氷河アイスコアに保存された145年間の大気ダスト記録
	11:15-11:45	藤田耕史	名古屋大学環境学研究所・教授	ヒマラヤのアイスコアにおける溶存イオンと気候インデックスの対照的な関係
	11:45-12:15	飯塚・石野		総合討論